

になりました。環境分野における先端産業が集積された工業団地と高度な安全性を有する管理型の埋立処分場が一体的に整備されますよう、県と連携を図ってまいりたいと考えております。

資源循環の促進につきまして、農地の荒廃防止や有効利用を図るためには、認定農業者等へ農地を面的なまとまりのある形で集積することが重要であることから、「農業経営基盤強化促進法」に基づく農用地賃借料一部助成制度の対象を、認定農業者のみでなく水田農業ビジョンに定める担い手農家にも拡大し、農地の流動化・集積を促進するとともに遊休農地の解消を図ってまいります。

■活力ある産産が育ちまわります

農地の荒廃防止や有効利用を図るためには、認定農業者等へ農地を面的なまとまりのある形で集積することが重要であることから、「農業経営基盤強化促進法」に基づく農用地賃借料一部助成制度の対象を、認定農業者のみでなく水田農業ビジョンに定める担い手農家にも拡大し、農地の流動化・集積を促進するとともに遊休農地の解消を図ってまいります。

特産品開発事業につきまして、観光果樹園及び果樹栽培農家の果樹の有効活用のため、農産物加工組織の活動を引き続き支援し、生産加工一体型の組織化を促進するとともに、エキナセアをはじめとする新たな特産品開発につきましても、関係機関の協力のもと組織の法人化や製品の開発、販路の拡大等の支援をしてまいりたいと考えております。

次に、林業の振興についてで

議会レポート

町議会第1回定例会(3月議会)が、3月3日から23日までの21日間の会期で開かれ、新年度予算をはじめとした19議案の審議が行われました。

人事案件

◇寄居町監査委員の選任の同意

↓原案に同意

【説明】任期満了に伴い、花輪利一郎さん(金尾)を引き続き監査委員として選任することに対して、議会の同意を求めたものです。

◇寄居町公平委員会委員の選任の同意

↓原案に同意

【説明】任期満了に伴い、大谷正典さん(岩崎)を引き続き公平委員会委員として選任することに対して、議会の同意を求めたものです。

◇寄居町固定資産評価審査委員会委員の選任の同意

↓原案に同意

【説明】任期満了に伴い、高橋晟さん(平倉)を引き続き、固定資産評価審査委員会委員として選任することに対して、議会の同意を求めたものです。

ありますが、桜沢・用土地内のふるさと自然の森には遊歩道が整備され身近なハイキングコースとして多くの方に利用されています。引き続き、回遊を楽しむネットワークづくりとして里山保全事業や町内林道の維持管理を進めてまいります。

次に、企業誘致推進事業のホンダ寄居新工場の建設につきましては、98ヘクタールにも及ぶ工場用地の造成工事はほぼ完了しているところであり、現在建築工事が進められています。また、用土地内の従業員寮も竣工し、「グリーンガーデン寄居」と名称決定されたところであり、さらに、関連する町道の新設改良工事及び公共下水道などのイ



建物の建築工事が進んでいるホンダ寄居新工場建設現場

平成21年度当初予算

◇寄居町一般会計予算

◇寄居町国民健康保険特別会計予算

◇寄居町老人保健特別会計予算

◇寄居町後期高齢者医療特別会計予算

◇寄居町下水道事業特別会計予算

◇寄居町農業集落排水事業特別会計予算

◇寄居町水道事業会計予算

↓7議案とも原案どおり可決

【説明】詳細については、今月号の特集(2~8頁)をご覧ください。

平成20年度補正予算

◇寄居町一般会計補正予算(第3号)

◇寄居町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

◇寄居町下水道事業特別会計補正予算(第3号)

↓3議案とも原案どおり可決

【説明】補正額は別表のとおりです。

条例の一部改正

◇寄居都市計画寄居公共下水道事業受益者負担に関する条例の一部改正

↓原案どおり可決

【説明】男衾地区への公共下水道事業認可区域の拡大に伴い、負担区及び単位負担金額を定めるためのもです。

指定管理者の指定

◇公の施設の指定管理者の指定(3議案)

↓3議案とも原案どおり可決

【説明】平成18年に指定管理者の指定を行った3施設について、3年間の指

ンフラ整備については平成20年度で完了し、上水道につきましては専用水道管の一部と男衾配水場ポンプ場増設工事を残すのみとなっております。

しかしながら、世界同時不況などの影響から、本田技研工業株式会社との経営戦略の見直しが行われ、昨年12月、ホンダ寄居新工場の稼働開始を1年以上延期する旨の発表がなされたところであり、今後の方針につきましては、本年6月から7月に最終判断されることとありますが、私は、一日も早い稼働開始を願うとともに、今後につきましても全面的に支援してまいります。

なお、ホンダ関連企業及び新規企業の誘致につきましても、企業誘致DVDやパンフレットを活用した企業訪問、公式ホームページでの情報発信により積極的に推進してまいります。

■多様な地域活動が育ち、人々が交流するまちづくり

青少年の健全育成につきましては、子どもの安全・安心の環境づくりを促進するため、引き続き、青少年健全育成町民会議が中心となって警察や地区協議会との連携を図りながら、こども見守隊の活動やこども110番の家、環境浄化活動など健全育成事業を進めてまいります。なお、町民海外派遣事業につきましては、中学生を派遣対象とするため、引き続き実施してまいります。

(5)明日を見つめ、互いに力をあわせるまち「協働」

■町民や企業と行政がともに考え、実行する協働のまちづくり

多様な手法による町民意見の反映では、これまでの町長への手紙、ファックス、Eメールなどに加え、町の計画・事業に対するパブリックコメント制度の活用を通じて、一層町民の皆様の声を町政に反映させてまいります。またアダプト制度の導入につきましても、都市計画道路天沼通り線の公共空地を地域の皆様方と行政が一体となり、維持管理に取り組みしておりますので、他の地区においても同様な取組を推進し、協働によるまちづくりの実践に努めてまいります。

民間企業との協働により整備する森林ボランティア活動促進事業では、引き続き、本田技研工業株式会社が従業員からのボランティア参加を特色とした「水源の森事業」を、県内で初めて、桜沢・用土地内のふるさと自然の森で取り組んでおりますことから、このような森づくり活動が、今後、山をいきいきとさせるとともに、豊かな癒しの空間を与えてくれるものと期待するものでございます。

■開かれた町政を推進するまちづくり

大量の情報を職員が共有できるグループウェアシステム導入の予算を措置いたしました。町民の声のデータベース化や公共施設のデータ管理などにより、

わかりやすく迅速な情報提供に努めてまいります。

■効率的・効果的な行政システムの構築を目指したまちづくり

行政改革大綱の実施では、「寄居町新生チャレンジプラン2006」に基づいた行政改革に取り組み、概ね実施計画どおりに推進しております。引き続き、これまでの成果と課題を踏まえつつ町民の視点に立ち計画の着実な推進を図るとともに、実施状況等につきましては、議会及び寄居町行政改革推進委員会へ報告を行い、広報よりいやや公式ホームページに掲載し、お知らせしてまいります。

また、事業ごとの経費の流れやコスト・事業効果の把握が行いやすい事業別予算の導入に向けて、システム改修委託料を予算措置いたしました次第であります。課税・収納業務の効率化につきましては、新たにコンビニエンスストア収納システム構築にかかる委託料等を計上し、催告業務の強化につきましては、民間の徴収ノウハウを活用した納税電話催告者派遣委託料を引き続き予算措置いたしました。

■より広い視野に立った行政を実現するまちづくり

大里広域市町村圏組合等との連携体制を維持するとともに、公共施設の相互利用等を適切かつ効果的に行ってまいります。平成21年度は、これらの施策の実現に全力を傾注してまいりますので、皆さんのご参加・ご協力をお願いいたします。

別表 平成21年第1回定例会での平成20年度予算補正内容

区分	補正前の額	補正額	総額
一般会計	9,496,030	868,728	10,364,758
国民健康保険特別会計	3,749,841	△3,234	3,746,607
下水道事業特別会計	1,099,288	17,700	1,116,988

ありがとう善意の寄附

次の方々から寄附をいただきました。皆さんの善意に感謝し、ご報告します。

【公共の福祉増進のため】
図書(200冊) 〓大字赤浜 日下部康明 様

【図書館資料充実のため】
図書(186冊) 〓寄居ロータリークラブ 会長 津久井康雄 様

【生涯学習の振興のため】
金50,000円 〓匿名

【交通安全のため】
学童用横断旗146本・保護者用横断旗48本

〓ふかや農業協同組合 代表理事組合長 根岸芳弘 様